



## 新所沢東地域包括支援センターからお知らせ



### ■ 認知症サポーター養成講座

日時：9月29日(木) 午後2時～午後3時30分

講師：医療法人医風会 デイサービスセンター  
ショートステイしあわせ花園施設長 星 創 氏

会場：新所沢東まちづくりセンター 講堂

定員：25名 (先着順)

※受付期間9月1日(木)～16日(金)

### ■ あなたも狙われている

#### 知っておきたい詐欺の最新トレンド

日時：10月19日(水) 午前10時30分～

午前11時45分

講師：所沢市消費生活センター 消費生活相談員

会場：新所沢東まちづくりセンター 講堂

定員：30名 (先着順)

内容：スマホ利用で注意したいこと、最新の消費生活トラブルの実態や手口について

☆新型コロナウイルスの影響で変更・中止となる場合があります。

【問合せ】新所沢東地域包括支援センター  
☎2968-8899

住所：松葉町11-1 マルハビル5階



地域包括支援センターは所沢市の委託により運営しています。

### 【新型コロナウイルス感染症対策のお願い】

◆検温を行います。 ◆マスク着用でご来場をお願いします。 ◆手指消毒をお願いします。



## 【高齢者いたわり部会】 集まれ！とこしゃん仲間

日 程	会 場
9月9日(金)	ラーク所沢 ※室内履きをお持ちください 原則第2金曜
10月14日(金)	
9月30日(金)	新所沢東 まちづくりセンター 原則第4金曜
10月28日(金)	

※第5週の開催です  
ご注意ください

とこしゃん体操は所沢市独自の健康体操です。  
1回約10分の体操で座ったままでも行えます。

【時 間】午前9時30分～10時45分

【持ち物】運動しやすい服装・運動靴  
(室内履き)・水分補給用の飲み物

【問合せ】しんとこイーストネット  
高齢者いたわり部会



原 部 会 長：TEL 04-2942-3741  
佐久目 副部長：TEL 04-2993-3054

## 所沢市の新型コロナウイルス 感染者の増加が続いています

令和4年8月5日時点の1日あたりの本市新型コロナウイルス新規感染者数は、753人となっており、過去最多を更新しました。同年7月5日の1日あたりの新規感染者数が35人で、1か月で約2.2倍になってしまっています。

感染者数を急激に減らすことは難しいかもしれませんが、市民一人一人が手洗い、換気、屋内等の3密になりやすい場所でのマスクの着用などを引き続き実施することで、これ以上の感染爆発は避けられるかもしれません。またまちづくりセンター等の利用時には、引き続き感染防止策へのご協力をお願いいたします。

## これからの“しんとこ東”を創造する

令和4年度1回目は、平成12年(2000年)10月から行われている新所沢東公民館と世話人(ボランティアスタッフ)共催の「子育てサロン『ちょっとひとやすみ』」に着目し、事業立ち上げ時からコロナ禍での現状・今後の課題等について当時を知る世話人の方々数名からお話を伺い、まとめました。(聴き取り・まとめ担当：「東の社教主事Aっち」)

### ○子育てサロンが始まったきっかけと当時の様子

平成12年当時、新所沢東公民館では「子育て学級」という子育て中の(特に乳幼児を抱える)母親を対象に、子育てに関する学習と同じ地域に住む同年代の子どもを持つ親同士の親睦交流を目的とした事業があった(現在はコロナ禍で休止中)。その反省会で、保育ボランティアが、参加していた多くのボランティアから出た「子育て中の誰にでも開放された気軽に立ち寄れる場所があれば」という意見を基に新たな取組ができないか公民館職員に提案、一緒に検討をした。その結果、同年8月の「子育てサロン」準備会を経て10月から同サロンが始まった。事業開始時から地域のニーズが高く、毎回平均20組程度の親子が参加(時間内の出入りは自由のため延べの組の数)し、公民館の和室に人が入りきれない時間帯があった。運営は世話人10名程度(母子愛育班〔現在は解散〕や主任児童委員等で構成)が毎月2名ずつ当番で会場に入り、10～15分程度手遊びをしたり、ママの話し相手や子どもたちと折り紙・お絵かき等と一緒にしたりするなど、気楽に参加でき楽しく交流できる場づくりを開設当初から令和になった現在も継続している。

### ○新型コロナとこれからの子育てサロン

令和2年(2020年)に、サロンは20周年を迎えたが、公民館の臨時休館期間やコロナの第2波等の影響により20年間で初めてサロンを休止することになった。

当初は20年もサロンが続くとは思わず、公民館職員と連携したこと、地区内の掲示板に自治会・町内会の善意でポスターを貼らせていただき地域のご理解・ご協力を得ながら子育て世代の方にサロンを周知できたことで活動が継続できた。支えてくださった多くのみなさまにこの場を借りて感謝申し上げたい。



現在のサロンの様子

休止期間を経てサロンを再開したところ、コロナ禍で出かける場所を失ってしまった親子が来訪し、中には毎月参加している方もいる。平成28年に隣の地区に「こどもと福祉の未来館」が開館し、常設の子育て交流の場ができたにもかかわらず、コロナ禍でも地区内のニーズが未だに多い。一方で、共働きの世帯が増えた影響か、来訪する子は0～1歳と低年齢化が進み、「4月から保育園に通うのでサロンは残念ながら卒業する」(実際、半年周期ぐらいで来訪する親子の顔ぶれが変化している)という声を近年聞くようになった。

世話人としては、時代が変化していく中でも、地区内でのサロンのニーズ(特に第1子を出産したばかりのママ)があることにコロナ禍で改めて気づかされ、「子育て中の誰にでも開放された気軽に立ち寄れる場」を設けるという当初からの理念を大切に、今後もサロンを支えていきたいと考えている。

しかし、当初から支えてきたメンバーの高齢化が進み、後継者の課題が出てきており危機感を抱いている。地区内で子育てサロンの理念に賛同して世話人に興味を持ってくださる方がいらっしゃれば、お声がけいただきたい。一緒に楽しみながら地域の子育てを盛り上げていきましょう。

子育てサロン「ちょっとひとやすみ」世話人会